

令和5年度 決算報告書

国立大学法人 弘前大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,161	10,484	323	(注1)
施設整備費補助金	468	671	203	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	915	1,417	502	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	-	-	-	
自己収入	30,293	29,926	△ 367	
授業料、入学料及び検定料収入	4,046	3,815	△ 231	(注4)
附属病院収入	25,962	25,727	△ 235	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	285	384	99	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,194	4,051	857	(注7)
引当金取崩	195	197	2	
長期借入金収入	1,306	1,287	△ 19	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	889	475	△ 414	(注8)
引当特定資産取崩	-	-	-	
計	47,421	48,508	1,087	
支出				
業務費	40,859	40,125	△ 734	
教育研究経費	15,305	15,027	△ 278	(注9)
診療経費	25,554	25,098	△ 456	(注10)
施設整備費	1,774	1,958	184	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	532	1,013	481	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,194	2,473	△ 721	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,062	1,038	△ 24	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	47,421	46,607	△ 814	
収入－支出	-	1,901	1,901	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、教育・研究基盤維持経費及び授業料免除分の追加配分があったことや、前年度からの繰越額を使用したことに伴い、予算額に比して決算額が323百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった補助金の追加配分があったことに伴い、予算額に比して決算額が203百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった新型コロナウイルス感染症対策関連の補助金や、国等からの補助金の受入があったため、予算額に比して決算額が502百万円多額となっています。
また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が397百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、令和5年度入学者に係る授業料の前納者が見込みより増加したことにより、令和5年度授業料収入が減となったため、予算額に比して決算額が231百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、病床稼働率の低下により、予算額に比して決算額が235百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として消費税還付金等により、予算額に比して決算額が99百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、共同研究契約等の増や寄附金の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が857百万円多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、主に目的積立金を取崩して実施する予定であった事業等を自己収入により実施したことにより、予算額に比して決算額が414百万円少額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、効率的な事業の実施により、予算額に比して決算額が278百万円少額となっています。
- (注10) 診療経費については、電気使用量の抑制等による光熱費の減や新型コロナウイルス感染症対策関連の補助金活用により、予算額に比して決算額が456百万円少額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が481百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金等による支出が予算段階より減となったことにより、予算額に比して決算額が721百万円少額となっています。